

レーシングプログラム

2026.4.11

出走馬一覧表

# RACING PROGRAM

中山競馬場・阪神競馬場・福島競馬場



ニュージーランドトロフィー(GII) (NHKマイルカップトライアル)  
サンケイスポーツ杯阪神牝馬ステークス(GII)

**Hello,  
Special  
Times.**

前日発売

桜花賞(GI)



11R 第86回桜花賞(GI)

THE OKA SHO (JAPANESE 1000 GUINEAS)

1600m(芝・右・外)Bコース使用 発走15時40分

このカラー版出馬表の内容は4月10日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing horse details: 枠番 (Saddle cloth number), 馬番 (Horse number), 父馬名 (Sire name), 母馬名 (Dam name), 顔写真 (Photo), 勝負服 (Silks), 性別毛色 (Sex/Color), 騎手名 (Jockey name), 馬主名 (Owner name), 調教師名 (Trainer name), 出走回数 (Race count), 過去3走成績 (Past 3 race results), 距離 (Distance), 馬場 タイム (Track time), 過去3走成績・前走 (Past 3 race results - previous race), 過去3走成績・3前走 (Past 3 race results - 3 races ago).

※ブレイクレーティングは、原則としてGI・JPN1競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となり、昨年のJPNサラブレッドランキング(外国馬はワールドベストレースホースランキング)と本年度レーティング最高値のうち高い方を掲載しております。ブレイクレーティングの〔 〕内数字は2歳時のものです。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。



### 「マジックマン」が勝利へエスコート エンブロイダリー

春の雨に濡れた桜をバックに「マジックマン」が前年に続く勝利。史上7人目となる桜花賞連覇を達成した。

牝馬クラシック第一弾はさまざまな路線から有力馬が集まり、混戦模様の一戦となった。阪神ジュベナイルフィリーズ以来の実戦となる2歳女王アルマヴェローチェを抑えて1番人気に推されたのは、フェアリーSを3馬身差、レースレコードで制して2戦2勝としたエリカエクスプレス。3番人気は、こちらもクイーンCでレースレコードを記録し、2馬身半差で完勝したエンブロイダリーとなった。

レースは好スタートから先手を取ったエリカエクスプレスの逃げで進んだ。1,000m通過は58秒6と、稍重馬場を考えれば速い流れ。直線、馬場の悪いインを避けるように真ん中に持ち出されたエリカエクスプレスに、外からアルマヴェローチェとエンブロイダリーが襲いかかる。2頭はともに中団を進んできたが、スムーズに外に出されたアルマヴェローチェに対し、エンブロイダリーは道中は馬群の中を追走。進路が開いたのは直線、残り200mの手前で、そこからアルマヴェローチェと馬体を併せての一騎打ちに。最後はエンブロイダリーがクビ差、前に出てゴールを駆け抜けた。

短期免許で騎乗する鞍上のジョアン・モレイラ騎手は、前年の桜花賞もステレンボッシュで優勝しており、史上7人目となる桜花賞連覇を達成した。森一誠調教師は開業2年目で、これが管理馬のJRA・GI初出走。レース前は稍重馬場への適性を心配していたと明かし、「騎手がうまくエスコートしてくれました」と胸を撫で下ろすとともに記念すべきGI初制覇を喜んだ。

エンブロイダリーの父は、新種牡馬のアドマイヤマーズ。フレッシュな血統とフレッシュな調教師が、まさに「マジックマン」の異名に相応しい名手の手綱捌きによって、桜の栄冠を掴んでみせた。

#### 第85回桜花賞 (GI)

4/13 阪神競馬場 1,600m(芝・右・外) 雨・稍重 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	エンブロイダリー	牝	3	55	J.モレイラ	森 一誠	1:33.1	③	⑨⑩
2	アルマヴェローチェ	牝	3	55	岩田 望来	上村 洋行	クビ	②	⑪⑫
3	リンクステップ	牝	3	55	M.デムーロ	西村 真幸	2 1/2	④	⑬⑭
4	マビュース	牝	3	55	田辺 裕信	和田 勇介	2 1/2	⑨	⑫⑬
5	エリカエクスプレス	牝	3	55	戸崎 圭太	杉山 晴紀	1 1/2	①	⑪⑫

エンブロイダリー  
栄光の蹄跡

7

アドマイヤマーズ 108 M  
エンブロイダリー  
ロッチンマイヤー(クロフネ)  
2022.2.1 生 安平・ノーザンファーム



牝3  
鹿  
55

J.モレイラ  
1983.9.26生  
南シルクレーシング  
森 一誠(美浦)

2025.2.15 東京  
デューククイーンCGⅢ  
14ト3人 1(108)  
55<sup>+</sup>。C.ルメール  
芝1600良 1:32.2

2024.11.16 東京  
1勝 クラス  
10ト1人 1(—)  
55<sup>+</sup>。C.ルメール  
芝1400良 1:22.7

2024.9.29 中山  
サブラン賞 1勝クラス  
9ト1人 5(—)  
55<sup>+</sup>。C.ルメール  
芝1600良 1:35.3

Sodashi  
ソダシ



## 無垢なる者

しゆうそく  
捷速に劣ることを  
自らに許さず  
されど沈着は失わず  
息を整え機をうかがう

強靱無比の肉体に  
秀抜な理知を掛け合わせて  
誰よりも早くあそこへ

その執着に混じりけはなく  
無垢なる心をうつして  
彼女は瞭然たる白に輝く

2018.3.8生 牝 白毛  
父:クロフネ 母:ブチコ  
通算成績:16戦7勝  
主な勝ち鞍:2022 ヴィクトリアマイル(GI)  
2021 桜花賞(GI)  
2020 阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)